

19-5 ポリマーフロンティア21

大変革期を迎えた自動車材料

主催：高分子学会 行事委員会

日時：2020年1月22日（水）10:20～17:20

場所：積水化学工業（株）京都研究所講堂

1. CASEとMaaSが変革する自動車産業 (インテル) 野辺 継男
2. 車載用HMIデバイスと進展を支える高機能材料 (UKAI DISPLAY DEVICE INSTITUTE) 鵜飼 育弘
3. 自動運転に向けたセンサーの変化を捉えたミリ波ガーニッシュの開発 (豊田合成) 三沢 明弘
4. 自動車の需要変化に向けた内装材料の開発 (本田技術研究所) 林 理恵
5. 金属有機構造体電極(iMOF)を用いた安全で高エネルギー密度なキャパシタ (豊田中央研究所) 荻原 信宏
6. SiC等次世代パワーモジュール用耐熱性樹脂材料 (横浜国立大学) 高橋 昭雄

自動車業界は100年に一度の大きな変革期を迎えています。変革の指針は、CASE「Connected(つながる)、Autonomous(自動化)、Shared(共有)、Electric(電動化)」というキーワードで象徴されています。本企画では、CASE及びそれに関連する分野の高分子材料について、開発の現状や今後の展望について紹介させていただきます。奮ってご参加下さい。

定員 100名

参加費 ①企業22,000円 ②大学・官公庁11,000円 ③学生1,100円

④名誉・終身・フェロー・ゴールド会員・シニア会員3,300円

※1月21日（火）午前中までにお申込みください（定員になり次第締め切り）。

詳細・お申込み：<https://member.spsj.or.jp/event/>



【行事委員会】